

# 消費者健康被害の実態 及びその防止対策

厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)  
エステティックの施術の安全対策及び衛生管理手法の構築のための研究  
研究代表者 関東 裕美(公益財団法人日本エステティック研究財団)

# 目次

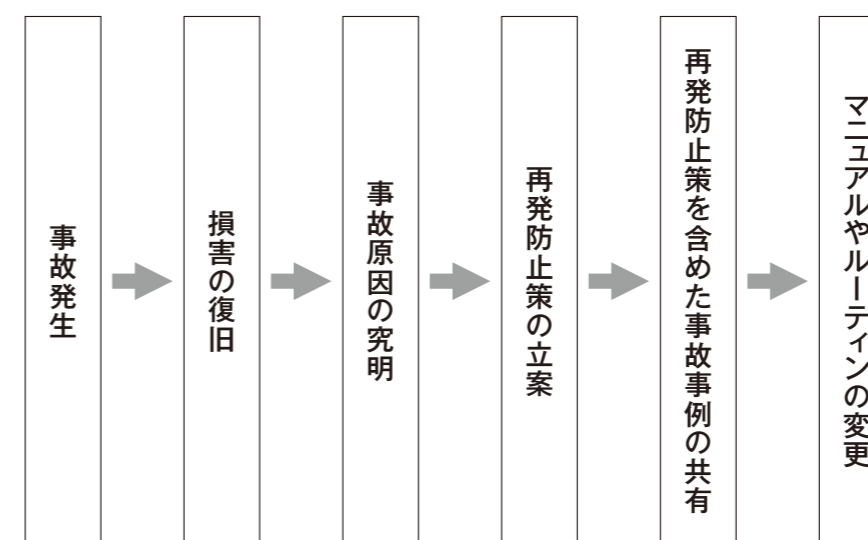
|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 消費者健康被害の実態及びその防止対策             | 1  |
| 1. 独立行政法人国民生活センター「エステティック」相談件数 | 2  |
| 2. 危害事例                        | 5  |
| 3. 施術前聞き取り用 カウンセリングシート         | 10 |

## 消費者健康被害の実態及びその防止対策

エステティックは、直接素肌に対して施術を行うことから健康被害が発生しやすい特徴があります。「きれいになりに来たのに健康被害を受けた」お客様は二度と来店されないだけでなく被害を受けたことが周囲に伝わっていき、お店だけではなくエステティック全体のイメージダウンにつながります。このことからエステティック施術の提供にあたり健康被害を防止するために最大限の努力が必要になります。エステティックに限らず一般的な「事故防止対策」は、「事故発生」→「損害の復旧」→「事故原因の究明」→「再発防止策の立案」→「再発防止策を含めた事故事例の共有」→「マニュアルやルーティンの変更」のプロセスで行われます。重要なことは、①「人間はミスをする」ことを前提としてマニュアルやルーティンを組み立てること②事故が発生してしまったときにきちんと「損害の復旧」をしたうえで原因を究明して二度と同様の事故が起らないようマニュアルやルーティンを変更することです。ここで紹介する事例は、2017年度に独立行政法人国民生活センターに報告された健康被害の事例です。消費者の主張のみで構成されており、かつ、個人情報保護のためはっきりとした原因をつかむのは難しいですが、考え得る原因と対処法を記載しています。よく読んで同様の事故を起こさないよう業務の見直しをしてください。また、皮膚や体の状態は個人差があるので施術前にカウンセリングシートを使用してよく聞き取り、施術の力加減や使用する化粧品の選択に生かし健康被害防止に役立てましょう。

### 消費者健康被害防止のイメージ

同じ事故を繰り返し起こさないために必要な作業です。「人間は必ずミスをする」ことを前提に安全対策を構築することが重要です。

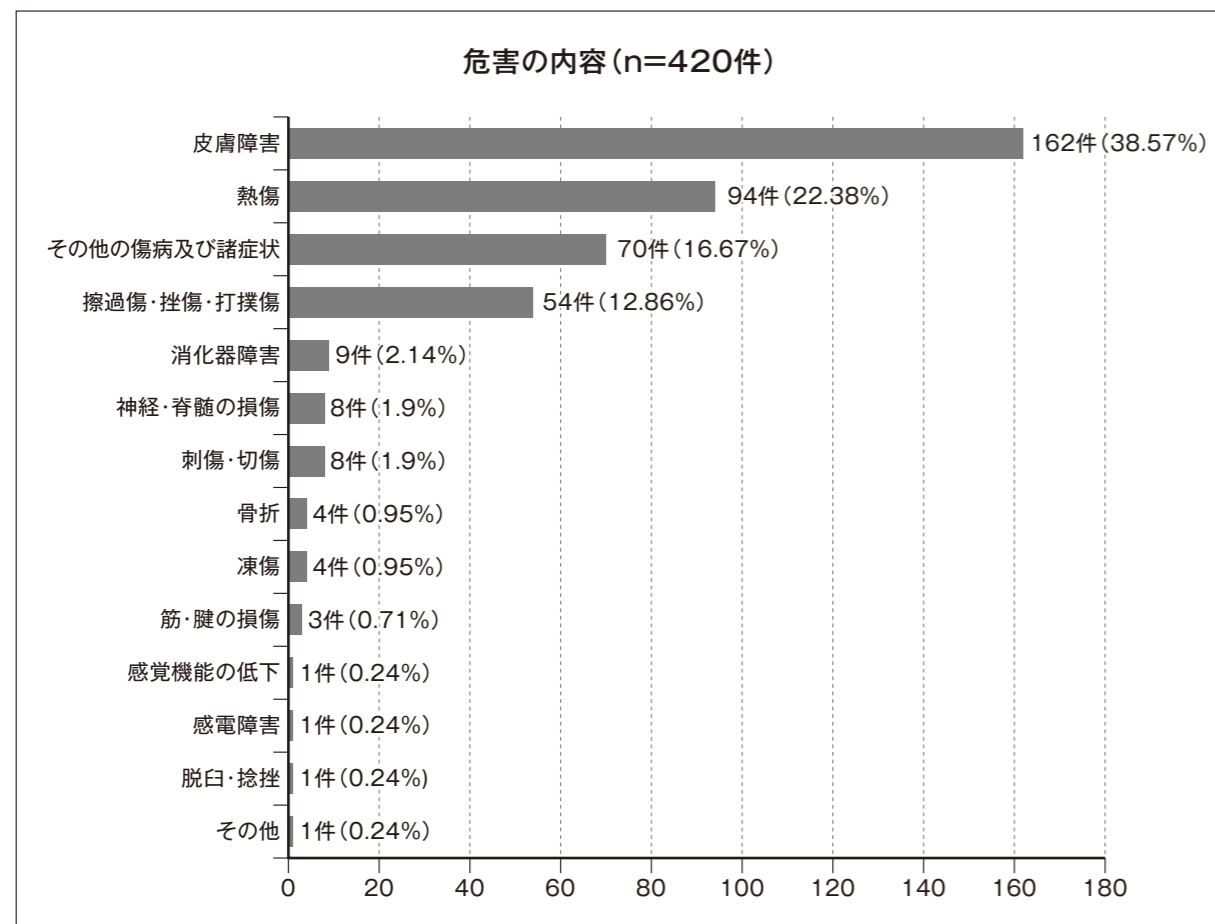
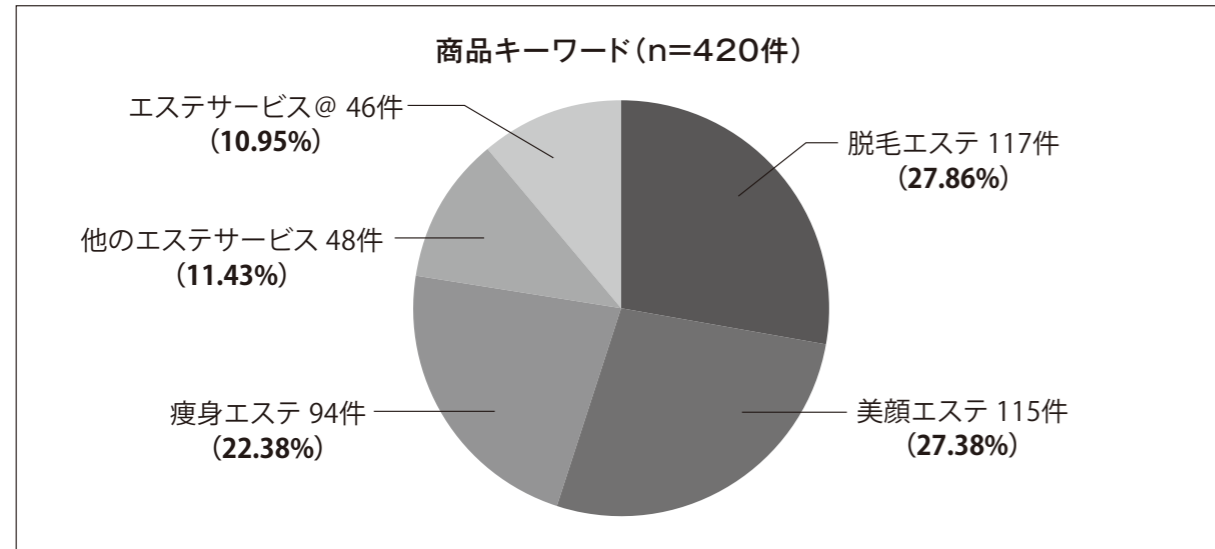


本書は、厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「エステティックの安全対策及び衛生管理手法の構築のための研究」の研究成果をもとに作成しています。

# 1. 独立行政法人国民生活センター「エステティック」相談件数

独立行政法人国民生活センターでは、日本全国の消費者相談窓口寄せられる消費者相談を「消費生活相談データベース(PIO-NET)」で集約しています。「エステティックサービス」に関する消費者相談は、年間7,000件前後、そのうち6~7%が健康被害に関する相談です。健康被害は、皮膚障害と熱傷が多くこの傾向は直近5年では変わりません。

## 独立行政法人国民生活センター PIO-NET(2018年4月~2019年3月)「エステティック」カテゴリ

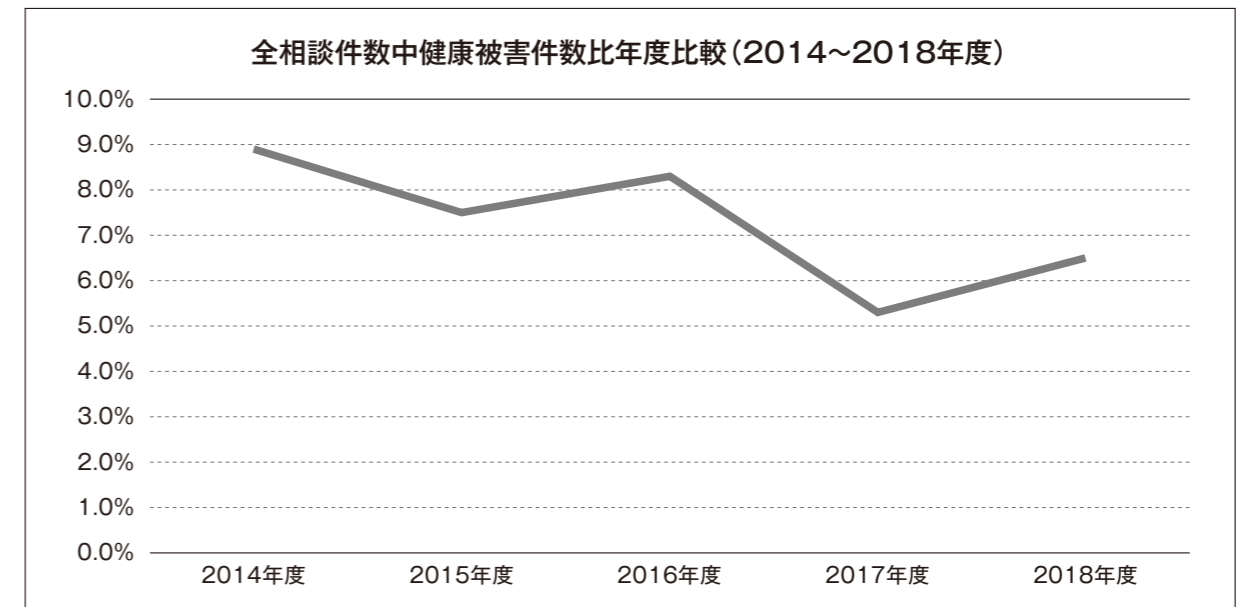


# 独立行政法人国民生活センター PIO-NET(2014~2018年度) 5年間比較

## 「エステティック」カテゴリ 消費者からの危害相談集計結果

※年度ごとに「エステティック」カテゴリの全相談件数中危害相談件数の占める割合を比較した。

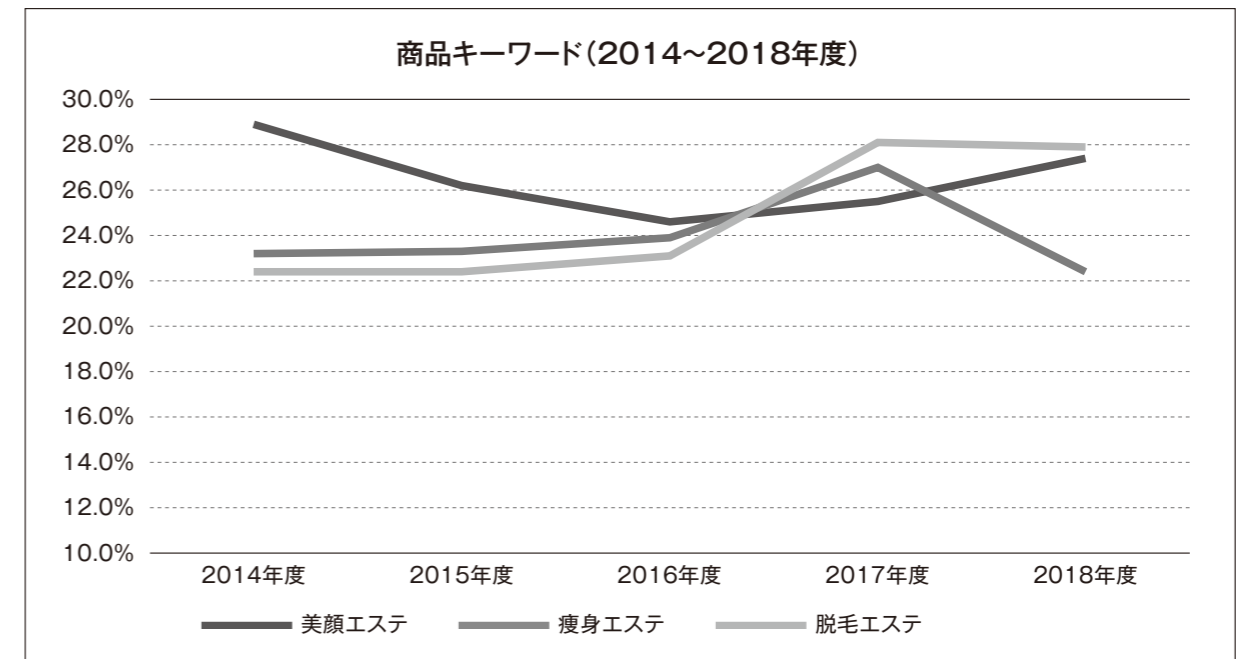
|    | 2014年度(7217件) |      | 2015年度(7368件) |      | 2016年度(7109件) |      | 2017年度(8686件) |      | 2018年度(6436件) |      |
|----|---------------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|------|---------------|------|
| 危害 | 643件          | 8.9% | 549件          | 7.5% | 590件          | 8.3% | 463件          | 5.3% | 420件          | 6.5% |



## 商品キーワード年度構成比推移

※年度ごとに健康被害の相談件数中キーワードの占める割合を比較した。

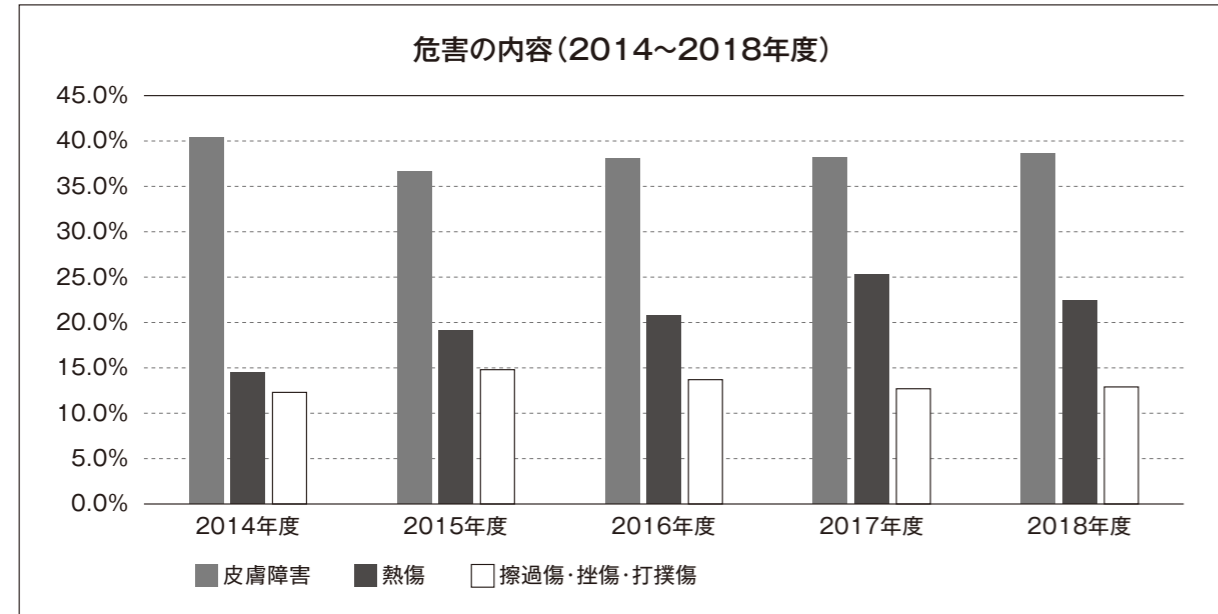
|       | 2014年度(643件) |      | 2015年度(549件) |      | 2016年度(590件) |      | 2017年度(463件) |      | 2018年度(420件) |      |
|-------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|
| 美顔エステ | 28.9%        | 186件 | 26.2%        | 144件 | 24.6%        | 145件 | 25.5%        | 118件 | 27.4%        | 115件 |
| 瘦身エステ | 23.2%        | 149件 | 23.3%        | 128件 | 23.9%        | 141件 | 27.0%        | 125件 | 22.4%        | 94件  |
| 脱毛エステ | 22.4%        | 144件 | 22.4%        | 123件 | 23.1%        | 136件 | 28.1%        | 130件 | 27.9%        | 117件 |



## 危害の内容年度構成比推移

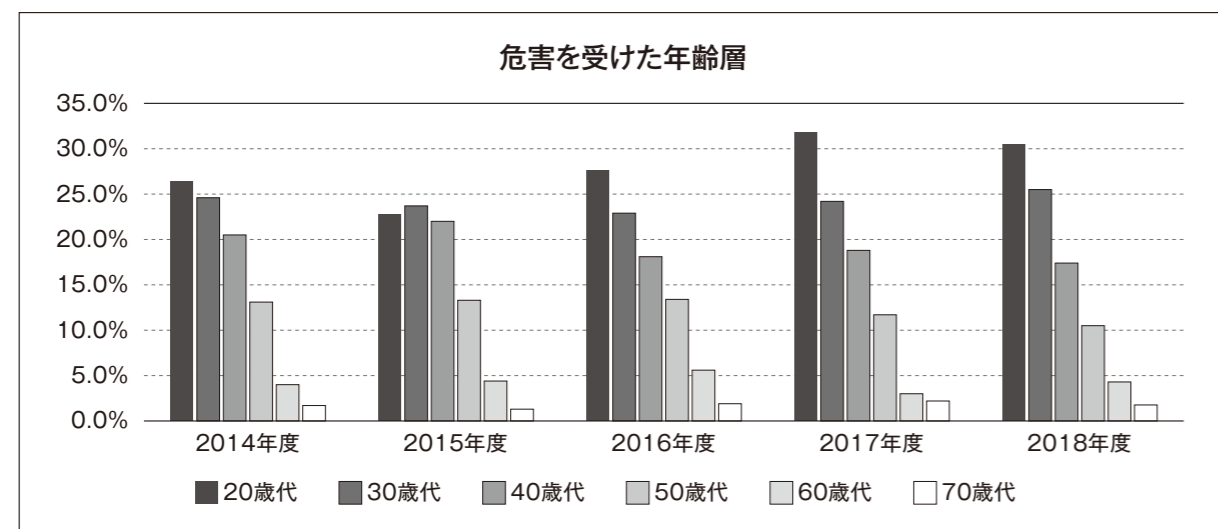
※年度ごとに健康被害の相談件数中危害内容の占める割合を比較した。

|            | 2014年度(643件) |      | 2015年度(549件) |      | 2016年度(590件) |      | 2017年度(463件) |      | 2018年度(420件) |      |
|------------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|
| 皮膚障害       | 40.4%        | 260件 | 36.6%        | 201件 | 38.1%        | 225件 | 38.2%        | 177件 | 38.6%        | 162件 |
| 熱傷         | 14.5%        | 93件  | 19.1%        | 105件 | 20.8%        | 123件 | 25.3%        | 117件 | 22.4%        | 94件  |
| 擦過傷・挫傷・打撲傷 | 12.3%        | 79件  | 14.8%        | 81件  | 13.7%        | 81件  | 12.7%        | 59件  | 12.9%        | 54件  |



## 被害者の年代 危害件数に占める割合 年度構成比

|      | 2014年度(643件) |      | 2015年度(549件) |      | 2016年度(590件) |      | 2017年度(463件) |      | 2018年度(420件) |      |
|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|
| 20歳代 | 26.4%        | 170件 | 22.8%        | 125件 | 27.6%        | 163件 | 31.8%        | 147件 | 30.5%        | 128件 |
| 30歳代 | 24.6%        | 158件 | 23.7%        | 130件 | 22.9%        | 135件 | 24.2%        | 112件 | 25.5%        | 107件 |
| 40歳代 | 20.5%        | 132件 | 22.0%        | 121件 | 18.1%        | 107件 | 18.8%        | 87件  | 17.4%        | 73件  |
| 50歳代 | 13.1%        | 84件  | 13.3%        | 73件  | 13.4%        | 79件  | 11.7%        | 54件  | 10.5%        | 44件  |
| 60歳代 | 4.0%         | 26件  | 4.4%         | 24件  | 5.6%         | 33件  | 3.0%         | 14件  | 4.3%         | 18件  |
| 70歳代 | 1.7%         | 11件  | 1.3%         | 7件   | 1.9%         | 11件  | 2.2%         | 10件  | 1.7%         | 7件   |



## 2. 危害事例

2017年度独立行政法人国民生活センターに寄せられた「エステティック」カテゴリーの危害情報を分類し「原因の可能性」「施術時の対処法」を加筆しました。様々な事例が報告されていますので同じような健康被害を起こさないための参考にしてください。

### 機器が原因と思われる危害 257件

#### 脱毛機器による皮膚障害 58件

脱毛機器によると思われる皮膚障害で挙げられている症状は、発赤、湿疹、かぶれ、痛み、かゆみ、色素沈着など。アトピー性皮膚炎の悪化も報告されている。脱毛による皮膚への刺激に対する反応や乾燥によることが原因と考えられる。

| 事例   | 原因の可能性                  | 施術時の対処方法           |
|--|-------------------------|--------------------|
| 脱毛サロンで施術時に傷になり出血、湿疹・肌荒れもあり受診。                            | 脆弱皮膚で脱毛施術による被害を受けやすい状況? | アトピー歴の問診と乾燥有無の皮膚観察 |
| 脱毛エステの高額な契約をした。アトピーのせいか皮膚炎を発症。解約返金と治療費希望。                | アトピー治療歴があれば軽快していても易刺激性  | 担当医の許可を確認          |
| 全身脱毛エステに通っていたが顔を脱毛すると顔が赤くなる。医者から皮膚が炎症を起こしていると言われたのでやめたい。 | 顔と他部位の皮膚バリア機能の違い        | 施術時に部位別の刺激性確認      |

#### 脱毛機器による熱傷 60件

脱毛機器は、照射時の出力が高すぎると皮膚の温度が上がり熱傷になる可能性が高くなる。脱毛に使用する光は、黒色に照射すると高温を発するので、皮膚の色に応じて出力を調整する必要がある。また、顧客が「痛い」と訴えたにもかかわらず施術を継続したことにより被害が拡大した事例があることから、顧客が違和感を訴えた時はすぐに施術を中止すること。

| 事例   | 原因の可能性                                | 施術時の対処方法                |
|--|---------------------------------------|-------------------------|
| 脱毛エステを契約。脇の脱毛施術の時に痛かったので痛いといったがそのまま施術が続けられ、その後火傷になり水ぶくれができた。 | 出力過剰による熱傷                             | 痛み訴えがあれば部位別に出力調整が必要     |
| エステ店でレーザー脱毛したところがあざができ病院に行った。完治に6か月程かかる。                     | 熱傷後色素沈着の可能性                           | 軽微熱傷でも色素沈着を生じるので部位別出力調整 |
| 脱毛エステをしたところ翌日両腕の皮膚が黒ずみ、その後赤くなり痛い。医者にはやけどと言われた。               | 出力過剰による熱傷<br>黄色人種の特徴で黒化した後に摩擦で赤くなる可能性 | 皮膚質観察をして部位別出力調整が必要      |
| 脱毛エステを受けた後に施術部が痛く、医者に行き、やけどと判明した。エステに施術料の返金と治療費の負担を希望する。対処は。 | 会陰部出力過剰で熱傷                            | 部位別出力調整が必要              |

## 脱毛機器その他 8件

脱毛機器のその他が8件あり、2件で髪の毛や眉毛が抜け、会陰部の脱毛で性病が感染したと訴えた事例が1件あった。会陰部については熱傷などを含め13件が報告されている。会陰部は粘膜の周辺でデリケートゾーンともいわれており、慎重な施術と嚴重な感染対策が必要でありできれば施術を避けることが望ましい。

| 事 例  | 原因の可能性  | 施術時の対処方法 |
|--|---------|----------|
| 3か月前全身脱毛エステ契約をし背面の照射5回目の時に束1cmぐらいの髪の毛が抜けた。               | 因果関係は不明 | 照射範囲の確認  |
| エステ店で〇〇オの娘が口周りの脱毛施術を受けた。口周りが薄くなると同時にまゆや髪の毛が薄くなった。        | 因果関係は不明 | ?        |
| 脱毛サロンでデリケートゾーンの施術を受けたら、性病をうつされた。通院し治療中。契約を解約し業者に補償を求めたい。 | 因果関係は不明 | ?        |

## 痩身機器による熱傷 31件

痩身を目的とした機器での熱傷は、31件となっている。治療期間3週間以上が11件と重症化しやすい。熱傷は、45℃ 1時間、50℃ 3分、60℃ 5秒、70℃ 1秒で起こるとされている。痩身を目的として使用する機器は、温熱を発するものが多く、高周波機器などは使用方法を誤ると施術中に高温となりやすく注意が必要。また、身体を温める目的の機器では、低温やけどに注意が必要。低温火傷では自覚症状がないケースもあり温度と時間に注意を払う必要がある。

| 事 例   | 原因の可能性                  | 施術時の対処方法  |
|---|-------------------------|---|
| 半年前痩身エステの体験をしたらラジオ波が高出力で足に火傷し通院中だ。エステ料金を半額にしてもらったが対応が悪くなり不納得。 | 施術不良か出力過剰？<br>温度上昇による熱傷 | ラジオ波は、皮膚との接地面がスムーズに動かないと温度が上昇しやすい。皮膚に接地したまま停止させると高温になるので注意すること。 |
| サロンでエステ専用というHIFU機器を使った施術を受けたら顔が痺れ、おなかに水ぶくれができた。               | 因果関係不明・本来は医療機器          | HIFU機器は医療機器の疑いがあり業界団体では使用を禁止している。                               |
| エステサロンで太ももの痩身エステを契約。施術中に火傷を負って現在も通院中。医療費を完治するまで支払ってほしい。       | 施術不良？出力過剰？              |   |

## 痩身機器「擦過傷・挫傷・打撲傷」21件

痩身を目的とした機器で擦過傷・挫傷・打撲傷は21件、内出血と思われる事例が16件だった。エステティックの施術で起こる内出血は、強い刺激により皮下の血管が破れて起こる。吸引やローラータイプの機器等で刺激が強くなりやすい。刺激が強いかどうかは、個人差があり、強さの加減に注意が必要。また、抗血栓薬など出血が止まりにくい薬を服用している消費者にはより一層の注意すること。

| 事 例  | 原因の可能性 | 施術時の対処方法      |
|--|--------|---------------|
| インターネット広告を見て痩身エステに行った。施術した腹に打撲痕が残った。               | 加圧過剰   | 各人による設定の検討    |
| エステ店で痩身施術を受けた際に背中に腫れとアザができてしまい全治1か月と診断された。         | 加圧過剰   | 設定の検討         |
| 掃除機のような機械を使って〇〇という痩身エステの体験を受け15回の契約をした。背中にあざができた   | 加圧過剰   | 設定の検討         |
| ネット広告を見て、全身のセルライト除去ができるエステに通った。痣が全身にできたので解約したい。    | 加圧過剰   | 設定の検討         |
| 痩身エステでおなかと二の腕を試したが、腕が腫れた。店は好転反応だというのが、施術代金を返してほしい。 | 加圧過剰   | 皮下出血は好転反応ではない |

## 痩身機器その他 23件

痩身機器は通常の使用方法を逸脱すると健康被害が起こりやすく、その影響も熱傷や打撲傷以外にも影響が多岐にわたっている。特に消費者が少しでも違和感を訴えた時はすぐに施術を中止することが必要。

| 事 例   | 原因の可能性   | 施術時の対処方法    |
|---|----------|-------------|
| クーポン券を使って脂肪冷却をエステで受けた。冷却したところが火傷になり通院している。                    | 凍傷？      | 個人の反応性を検討   |
| 折り込みチラシを見て痩身エステ体験後契約をしたが、全身の痛みが続いているので解約したい。                  | 施術過剰     | 施術前心因性反応を検討 |
| 個人でやっているエステ店で施術したが下腹部が痛くなり足首も痛いので辞めたいが既に払ったお金は返金されるだろうか。      | 施術過剰？    | 個人の反応性を検討   |
| 痩身の施術で両腕に焦点式超音波を当てたところ、右腕に感電したような衝撃が走り、親指と人差し指に痺れが残る。         | 本来は医療器具  | 感覚過剰性を検討    |
| 超音波エステをエステティシャンにしてもらったら足に痺れが残っている。神経に当たっていると思われる。今後の対応は。      | 心因性過剰反応？ | 個人の反応性を検討   |
| クーポンを使って受けた痩身エステで背中全体と両足が赤くなり、内ももには打撲傷のようなあざができた。接客にも問題があり不満。 | 施術過剰     | 過剰施術は事故のもと  |

**手技が原因の健康被害 134件**

**手技による皮膚障害 54件**

ハーブやピーリング、シリコンパックなど施術に使用する化粧品類が原因と思われる発赤や湿疹、腫れが多く報告されている。マッサージの力が強すぎたと思われる事例もあった。

| 事 例  | 原因の可能性       | 施術時の対処方法           |
|--|--------------|--------------------|
| アロマタッチトリートメントを試してみませんかという広告をSNSで見て出向いた。施術後に湿疹が出たが業者の対応が悪い。   | 接触皮膚炎?       | かぶれ既往確認・皮膚質の観察     |
| 4か月前、美顔エステの契約をし化粧品、美顔器も買った。1回目施術時にニキビ箇所を強く押されて痛く悪化した。        | 毛包炎?         | 過剰な施術接触は避ける        |
| エステサロンでピーリング施術後肌が荒れ、皮膚科でピーリングによる皮膚炎との診断が出たので施術代を返金して欲しい。     | 刺激性皮膚炎?      | 皮膚質の観察・過剰な施術接触は避ける |
| 6日前エステサロンでハーブによる美顔施術を受けた。その後両方のほっぺが腫れて病院に行った。                | 刺激性皮膚炎?      | 皮膚質の観察・過剰な施術接触は避ける |
| 美顔エステで毎回ほほに張るシリコン剤が原因で跡が残った。業者は原因を認めない。                      | 加圧過剰?        | 施術注意               |
| 美顔エステの体験に出向き、1回のみプライダルエステの契約をした所、翌日顔が腫れ、解約を申し出たが、解約不可と言われた。  | 因果関係不明       | 施術注意               |
| 美顔エステの無料施術を受け、顔にブツブツが出て目の周りが腫れた。                             | 刺激性皮膚炎?      | 施術注意               |
| エステで美顔の施術を受けたら目の周りが赤紫に腫れた。皮膚科を受診して診断書も出し、施術代等の返金を求めたが対応なく不服。 | 刺激性皮膚炎?皮下出血? | 皮膚質の観察・過剰な施術は避ける   |
| 痩身エステの契約をしたが、施術後、湿疹ができたので、クーリングオフしたい。                        | 異汗性湿疹?       | 過剰発汗は避ける           |
| 一昨日、ネットで知ったリンパマッサージ店で足のジェルマッサージを受けた後、皮膚が赤くなった。               | 刺激性皮膚炎?      | 過剰施術は避ける           |
| エステに行き肌のトリートメントをした。目の周りには塗らないでと言ったはずなのに目の周りが腫れ上がってしまった。      | 刺激性皮膚炎?      | 眼周囲は最も弱い部位!        |

**手技による「擦過傷・挫傷・打撲傷」など 48件**

擦過傷・挫傷・打撲傷30件 神経・脊髄の損傷11件 骨折7件 原因のほとんどがマッサージの力加減と思われる。内出血や骨折は、年齢、体質、服薬、慢性疾患などの要因で個人差がある。常に同じ力で施術を行うとお客様によっては内出血や骨折が起こる可能性がある。

| 事 例  | 原因の可能性       | 施術時の対処方法     |
|--|--------------|--------------|
| 一昨日、エステ店で美顔の施術をしてもらった時、担当者の手が荒れていて顔に傷がついた。                   | 刺激性皮膚炎?      | プロ意識を持って手の管理 |
| 通っているエステ店でハンドで行う痩身エステを受けたらふくらはぎに痣ができた。                       | 皮下出血         | 過剰施術は避ける     |
| きのう背中にオイルマッサージを受けたら、こすられた所が赤くなりヒリヒリするので店に文句を言いたい。皮膚は元通りになるか。 | 刺激性皮膚炎?      | 皮膚質を把握して施術   |
| 娘が海外拳式の出発前に受けたプライダルエステ。担当者の揉む力が強すぎたため、上腕に内出血のあざができた。         | 皮下出血         | 過剰施術は避ける     |
| エステサロンのオイルマッサージで肩の施術を頼んだが、強引な施術で発熱、しびれを発症。                   | 因果関係不明?過剰施術? | 施術前体調の把握     |
| オールハンドで行う痩身エステの施術中にデコルテ部分の軟骨を骨折。完治に1か月要した。                   | 過剰施術         | 加圧時個人差を検討    |
| 妻がエステの施術後、肋骨が骨折していることが分かった。業者は、エステと骨折との関係が認められないと言う。         | 過剰施術         | 加圧時個人差を検討    |
| エステで目の周りを強く押され目が見えづらくなった。業者に訴えたが取り合ってくれない。                   | 因果関係不明?過剰施術? | 加圧時個人差を検討    |

### 3. 施術前聞き取り用 カウンセリングシート

健康被害を防止するためにはお客様への事前聞き取りが重要なポイントになります。本カウンセリングシートは、お客様に現在の体調、体質、アレルギー、既往症、エステティックでの健康被害の経験等を漏れなく聞き取れるようになっています。

#### エステティック施術の安全性向上のためのモデルカウンセリングシート

##### Q1 あなたの体調などについてお伺いします。

- 皮膚状態 ●体調 ●身体疲労 ●ストレス

##### Q2 アレルギーについてお伺いします。

- アレルギーの有無 ●花粉症 ●喘息 ●アトピー性皮膚炎 ●蕁麻疹 ●化粧品 ●金属
- 光線過敏 ●食物 ●薬物 ●ラテックス

##### Q3 慢性疾患についてお伺いします。差し支えない範囲で回答をお願いします。

- 慢性疾患の有無 ●糖尿病 ●高血圧 ●心臓病 ●悪性腫瘍 ●リンパ浮腫 ●膠原病
- 更年期障害 ●精神疾患

##### Q4 過去エステティックの施術で健康被害を受けたことがありますか？

- 健康被害の有無 ●かぶれ ●やけど ●擦過傷・打撲傷

エステティック施術の安全性向上のためのモデルカウンセリングシート(例)

**Q1 あなたの体調などについてお伺いします。**

●あなたの皮膚状態についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

|                      |               |                  |
|----------------------|---------------|------------------|
| 1) 発疹が出やすい           | 4) 皮膚がかゆい     | 7) 皮膚がほてりやすい     |
| 2) おできや吹き出物・ニキビが出やすい | 5) 冬にはあかざれがある | 8) 季節の変わり目に不調になる |
| 3) 皮膚がかさかさしやすい       | 6) 皮膚が冷えやすい   |                  |

●あなたの体調についてあてはまる項目すべてに○をつけてください。

★ 良好 普通 不調

|      |      |         |     |      |
|------|------|---------|-----|------|
| ●冷え  | ●胃腸  | ●便秘     | ●頭痛 | ●ほてり |
| ●更年期 | ●腰痛  | ●不眠     | ●貧血 | ●高血圧 |
| ●低血圧 | ●めまい | ●その他( ) |     |      |

★ 身体疲労 ほとんどない 軽度 重度

★ ストレス ほとんどない 軽度 重度

**Q2 アレルギーについてお伺いします。**

●アレルギーの有無 なし あり※下記にあてはまる項目全てに○をつけてください。

| いつ頃から    | 症状(あてはまるものすべてに○)  | 現在の状況(あてはまるものすべてに○)              | 原因物質   |
|----------|---|----------------------------------|--|
| 花粉症      | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・スギ<br>・ヒノキ<br>・ブタクサ<br>・その他( )                  |
| 喘息       | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・ハウスダスト<br>・ダニ<br>・カビ<br>・ペット<br>・その他( )         |
| アトピー性皮膚炎 | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 |  |
| 蕁麻疹      | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 |  |
| 化粧品      | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・香料<br>・色素<br>・パラベン<br>・ヘアダイの染料(PPDA)<br>・その他( ) |

※化粧品の種類やメーカーが分かればご記入ください。

| 種類    | メーカー  |                                  |  |
|-------|---|----------------------------------|--|
| 金 属   | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・ニッケル<br>・コバルト<br>・クロム<br>・その他( )          |
| 光線過敏  | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・外用性(香料、湿布薬等)<br>・内服性                      |
| 食 物   | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・卵<br>・牛乳<br>・大豆<br>・小麦<br>・甲殻類<br>・その他( ) |
| 薬 物   | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・医薬品<br>・漢方薬<br>・抗生物質<br>・経絡刺激剤<br>・その他( ) |
| ラテックス | 前年<br>・発疹<br>・発赤<br>・水ぶくれ<br>・かゆみ<br>・せき<br>・鼻水<br>・しゅみ<br>・痛み<br>・その他( ) | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・ゴム手袋<br>・輪ゴム<br>・その他( )                   |

**Q3 慢性疾患についてお伺いします。差し支えない範囲で回答をお願いします。**

●疾患の有無 なし あり※下記にあてはまる項目全てに○をつけてください。

| いつ頃から | 症状の自己評価                  | 現在の状況                            | 疾患による日常生活への影響                   |
|-------|--------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 糖尿病   | 前年<br>・重症<br>・中等症<br>・軽症 | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・大<br>・中<br>・小<br>・なし<br>※内容( ) |
| 高血圧   | 前年<br>・重症<br>・中等症<br>・軽症 | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・大<br>・中<br>・小<br>・なし<br>※内容( ) |
| 心臓病   | 前年<br>・重症<br>・中等症<br>・軽症 | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・大<br>・中<br>・小<br>・なし<br>※内容( ) |
| 悪性腫瘍  | 前年<br>・重症<br>・中等症<br>・軽症 | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・大<br>・中<br>・小<br>・なし<br>※内容( ) |
| リンパ浮腫 | 前年<br>・重症<br>・中等症<br>・軽症 | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・大<br>・中<br>・小<br>・なし<br>※内容( ) |
| 膠原病   | 前年<br>・重症<br>・中等症<br>・軽症 | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・大<br>・中<br>・小<br>・なし<br>※内容( ) |

いつ頃から 症状の自己評価 現在の状況 疾患による日常生活への影響

|       |                          |                                  |                                 |
|-------|--------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 更年期障害 | 前年<br>・重症<br>・中等症<br>・軽症 | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・大<br>・中<br>・小<br>・なし<br>※内容( ) |
| 精神疾患  | 前年<br>・重症<br>・中等症<br>・軽症 | ・投薬<br>・通院<br>・入院<br>・完治<br>・無治療 | ・大<br>・中<br>・小<br>・なし<br>※内容( ) |

**Q4 過去エステティックの施術で健康被害を受けたことがありますか？**

●健康被害の有無 なし あり※下記にあてはまる項目全てに○をつけてください。

| いつ頃      | 被害の程度   | 機器使用の有無 | 原因となった施術                          |
|----------|---|---------|-----------------------------------|
| かぶれ      | 前年<br>・治療1週間未満<br>・治療1～2週間<br>・治療3週間～1ヶ月<br>・治療1ヶ月以上<br>・治療せず | 有 無     | ・フェイシャル<br>・脱毛<br>・ボディ<br>・その他( ) |
| やけど      | 前年<br>・治療1週間未満<br>・治療1～2週間<br>・治療3週間～1ヶ月<br>・治療1ヶ月以上<br>・治療せず | 有 無     | ・フェイシャル<br>・脱毛<br>・ボディ<br>・その他( ) |
| 擦過傷・打撲傷等 | 前年<br>・治療1週間未満<br>・治療1～2週間<br>・治療3週間～1ヶ月<br>・治療1ヶ月以上<br>・治療せず | 有 無     | ・フェイシャル<br>・脱毛<br>・ボディ<br>・その他( ) |

### エステティック施術の安全性向上のためのモデルカウンセリングシート注意事項

#### Q1 体調

疲労やストレスが原因で体調が下降気味な時は、免疫力が低下していることが多く、普段は問題のない細菌やウイルスに感染する可能性が高くなります。施術前にお客様の体調を確認して疲労やストレスがあるときは無理な施術は行わないようにしましょう。

#### Q2 アレルギー

アレルギーを持つお客様への共通の注意事項として、お客様がひりひり感、痛み、痒みなど違和感を訴えた時にはすぐに施術を中止し、冷やしましょう。

#### 〈花粉症〉

花粉症の方は、鼻のかみ過ぎ、眼のこすり過ぎ、マスクなどの摩擦行為により皮膚バリア機能低下状態にあるので、花粉が皮膚に接触して皮膚炎を起こしてしまうことがあり、花粉症皮膚炎と診断されます。化粧のせいかと思って化粧をやめると、むしろ悪化してしまう方も多いため化粧かぶれなのか花粉症によるかぶれなのかを見極める必要があります。難しい場合は、是非、専門医受診を勧めあげるようにしましょう。施術は、赤みやかさつきが酷い場合、通常の施術では刺激が強すぎかぶれが助長してしまうこともあるので、気持ちのいいことだけをしてあげましょう。「リラクゼーションを心がける」という方が良いように思えます。

#### 〈喘息〉

喘息は、アレルゲンが特定されているものとされていないものに分けられ、アレルゲンが特定されている場合はその原因物質と接触しないように配慮しましょう。治療していて問題がない人は通常の施術で大丈夫ですが、例えば、症状が出ていなくても、その姿勢や圧力によっては、思いがけない喘息発作を誘発することもあるので、特に仰臥位(仰向けに寝る)は、苦しくなってしまうことがあります。お客様から楽な姿勢を聞いて、発作の誘発がないようよく話し合い、姿勢に気を付けてあげる必要があります。

#### 〈アトピー性皮膚炎〉

ご自身に花粉症、喘息、蕁麻疹などがあり、あるいは血縁のある家族にもあり、冬の乾燥に弱いような方は、アトピー性皮膚炎と診断されていなくても、アトピー性皮膚炎の発症リスクが高いと思っていただく必要がありますから、きちんと問診をとることがとても大事です。冬場の口唇のかさつきが酷い方、目尻、あるいは、耳が切れやすい方、手指先にはあかざれを起こすような方たちは、アトピー性皮膚炎の部分症状のことがあります。ご本人が、自分だけはアトピー性皮膚炎ではないと思っているケースもときどきあるので、きちんと問診を注意深く行って、その人の皮膚のリスク度合いを見極めて施術をする必要があります。

当然、冬場は皮膚バリア機能が落ちている状態なので、さらに擦る、マッサージということで、使う洗浄製品や化粧品類による刺激を誘導しやすくなってしまいます。特別アトピー性皮膚炎だから香料が使えないアレルギー性のかぶれが起こりやすいというわけでは決してありませんけれども、過敏に感じる状況があります。敏感肌という本人の認識がない人ほどクレームになってしまうようなことがあるかもしれないので、注意深く、それはしっかり聞きながら施術もしながら皮膚状況を観察しながら、無理のない施術をするということが良いと思います。

症状が落ち着いていけば皮膚に対する刺激が弱いものを選択して、お互いによく話をしながら、施術内容を決めていきましょう。疾患治療中の方、生理前後、あるいは産後の具合、更年期の具合、ハイリスクの人には、何を求めている、何を提供してあげればいいのかということを考える必要があります。

### 〈蕁麻疹〉

蕁麻疹というのは、虫に刺されたように赤く膨れて24時間以内に消えてしまうものです。2か月、3か月とかゆい発疹が出ては消え、出ては消えを繰り返しているのは慢性蕁麻疹です。原因は、様々で、温熱蕁麻疹、寒冷蕁麻疹、物理的な擦る事によって起こる人工蕁麻疹などがあります。それから発汗による蕁麻疹は、普通の蕁麻疹より毛穴に一致した小さいブツブツした小紅斑がでできます。また、もちろん薬剤、塗り薬で接触蕁麻疹が起こることもあります。蕁麻疹の方は、治療しているかどうかがとても大事で、抗ヒスタミン薬を飲んで安定している方は、通常の施術も問題ないケースが多いでしょう。一方、温熱刺激、摩擦刺激で誘発される可能性があることをあらかじめお伝えをして、反応が出るようだったら早めにやめるという対策を施術前にお互いに理解し合っはじめるというのが良いと思います。治療してない人はより多く症状が出る可能性があるので、毎晩、蕁麻疹が出るという人はとりあえず施術することによって、より強い反応が出るかもしれません。蕁麻疹体質でこのところ蕁麻疹が夜になると毎晩出してしまうという方は、施術により、より強く誘発されてしまいますので、治療をおすすめして、医師の許可を頂いてというふうにお話されたほうが良いように思います。

### 〈化粧品〉

「化粧品のかぶれがある」とチェックをする人で、化粧品の中で香料、防腐剤などかぶれる原因が分かっている場合は、きちんと情報を得て施術しなければいけません。化粧品かぶれの人は、これをして欲しい、あれをして欲しいというのを具体的に施術の内容を相談をしながら決めていくことが大事かもしれません。何にかぶれているのか、今は問題がないのか、例えば、こういう香料が入っているものを使います。防腐剤が入っているものを使います。ということをお互いに言ってお互いに、それが大丈夫かどうかというのを確認をしたという記録を残していく方がいいでしょう。

### 〈金属〉

金属が汗に触れ金属成分が溶け出し金属イオンになります。この金属イオンが皮膚に浸透しアレルギーを起こすことがあります。これは、重症度によるので、金属アレルギーだから顔の施術をしてはいけないということはありません。むしろマッサージをしたり、オイルマッサージをしたりというのは、基本的にはあまり問題はないと思います。機器などで、金属でなでるとか、電流を流すことで、発汗させると反応してしまうかもしれませんので避けたほうが良いでしょう。また、金属板を体に付けて電流を流すというのは、基本的に金属アレルギーの人にはやってはいけません。

### 〈食物〉

最近化粧品に大豆や小麦など食品が含まれている事があります。食物アレルギーを持っている人にその食物成分を塗ると反応が出る場合があります。過去にエステティックでは、豆乳の入った化粧品で大豆アレルギーになったという症例がありました。ですから、小麦のかぶれとか大豆のかぶれとか、きちんと確認をして、自分がこれから施術をしようと思う化粧品と関係がないかどうかということ、チェックするようにしてください。食べる物が化粧品の中に入っていることはよくあるので、ナッツのアレルギーなどは、マッサージ用オイルなども注意が必要です。注意すべきは、ナッツ、大豆、小麦、蜂蜜(ローヤルゼリー)、うこんなどになります。接触蕁麻疹では、ショックを起こすこともありますので注意が必要です。

### 〈薬物〉

エステティックでは、薬を使うことはありませんのでさほど重要視しなくて大丈夫です。ただし、湿布でかぶれる人などは、メントールなどが原因のことが多いですので注意が必要です。

### 〈ラテックス〉

ラテックスアレルギーは、天然ゴムの入った手袋などで時に重い症状が出ます。最近の使い捨て手袋ではラテックスが入っていないものが増えてきています。ラテックスアレルギーのお客様を施術する場合、施術に使用する器具類に天然ゴムが含まれていないかどうか確認してから使しましょう。

### Q3 慢性疾患

慢性疾患は、重症度によって注意点が変わってきます。日常生活で気をつける点など詳しく聞き取り施術を組み立てていきましょう。主治医からの注意事項があるときは、厳守するようにします。

### 〈糖尿病〉

糖尿病と申告があった時は、状態をよく聞き取り、脚のむくみ、傷、感染のチェック(見た目がきれいならたいがい大丈夫です。)をしましょう。そのうえでお客様とよく相談して施術の組み立てを行いましょう。また、足先などに末梢神経障害がおこり、感覚がマヒしている人もいますので注意が必要です。

### 〈高血圧 心臓病〉

急激な温度変化があるとリスクが高まります。サウナなど温度上昇がある施術には注意が必要です。また、血流改善の薬を服用していると、マッサージの力で皮下出血がおこりやすくなります。

### 〈悪性腫瘍〉

悪性腫瘍でエステティックに行ってもいいよと主治医から許可をされている人は、何をどうしていいかということをお互いにきちんと施術前に問診をして、足だけのマッサージなり、顔のマッサージなり、リラクゼーションを心がけましょう。特に抗がん剤治療を受けている人は主治医のOKをもらいましょう。

### 〈リンパ浮腫〉

浮腫の病態によりますが、傷がなければ基本的に、気持ちがいい範囲で施術はOKでしょう。傷をつけてしまうのは厳禁です。

### 〈膠原病〉

膠原病も飲んでるお薬の種類あるいは、どのぐらい期間長く飲んだかということで皮膚の委縮状態、出血の状態というのが、千差万別になってきます。これも同じように長くステロイド・免疫抑制剤両方を飲んでいる可能性があるため、外圧のかけ方について相談して下さい。薄い皮膚でペロンとむけることや出血することがあるかもしれません。年齢よりも弱い皮膚ということがありますので、施術の力を加減をしてください。

### 〈精神疾患〉

いろいろ話をして楽になることがあるので、気持ちの良い施術をこころがければいいでしょう。こちらから施術提案をしない方がいい人たちは、何をされに来たか、何をしたいのかということをお互いにしっかりと話をしあうのがいいと思います。逆らわない、決めたコースを勧めないがキーワードです。

### 〈更年期障害〉

心身の不安定な状況で、顔はほてり、手足は冷えて困る人が多いようです。症状に合わせて、気持ちのいいことをやってあげるのがいいと思います。顔のクーリングがいい人もいるし、手足のマッサージでホットにしてあげるのがいい人もいますし、きちんと話を聞いて施術を組み立てましょう。